

場所を越えて広がる**新しいICT授業・教育カリキュラム**を。Zoom・Teamsとは違う『窓』で実現します。

## 1. 目的

今回ご提案する「窓」は、異なる場所においても、同じ場所にいるように感じさせることができます。そのため、本事業の“具体的取組例”にある「デジタルを活用した文理横断的な探求的な学びの実施」「高大接続の強化により高度な専門教科指導の実施」など、自校内だけで完結せず高校間の連携・大学との連携強化・民間企業との連携等幅広くご活用いただけます。また、様々な地域やコミュニティと連携と接続することにより「デジタルものづくりなど、生徒の興味関心を高めるデジタル課外授業の推進」を図ることができます。

## 2. 窓とは？



窓（実機）



遠隔授業シーン

窓とは、縦型大画面を活用し、等身大の相手と周辺視野に映る空間の奥行きを感じることができます。また双方向の高音質技術により、会話＋適度な環境音を伝えることで本当に同じ空間にいるような感覚を生み出すことができるシステムです。

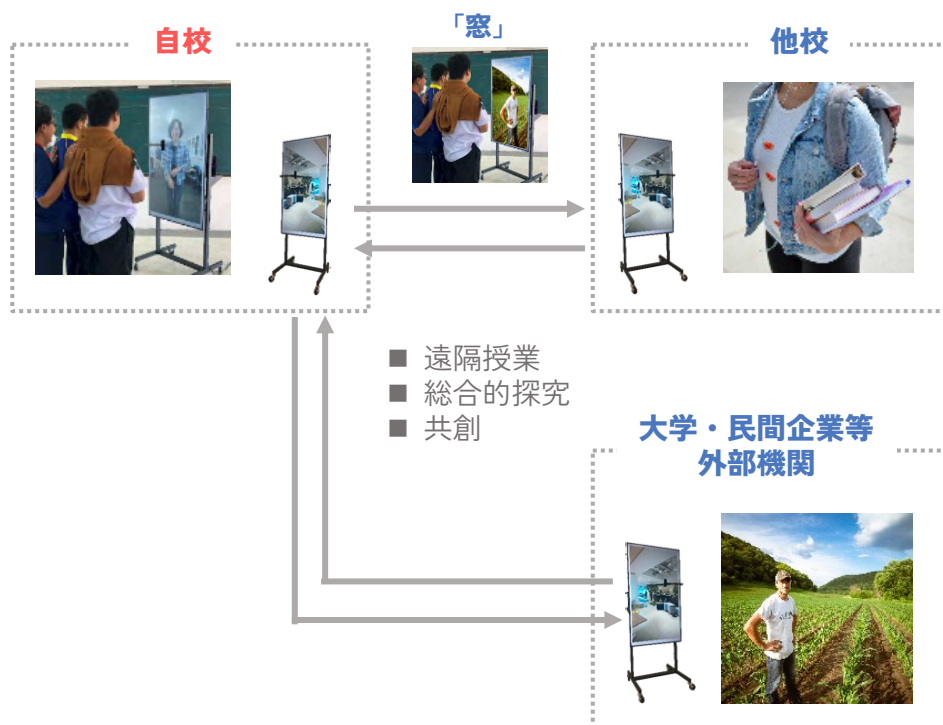
### 【窓の特徴・メリット】

- Zoom等とは異なる双方向の音声伝送（低遅延）システムを採用
- 等身大モニターによる全身が入る空間設計
- 外部講師など遠隔授業における**移動コストの削減**



- 音声が途切れない
- 双方向でストレスフリーな会話
- 等身大・実物大の「臨場感」と「気配」

## 3. 教育現場での利用イメージ



## 4. DXハイスクール募集要領に対応する事業とご提案プログラム

本ご提案は、DXハイスクールの募集要項の下記事業に対応することが可能です。

### ■募集要領に対応する事業

- 「探究・文理横断・実践的な学びの推進」
- 「産業界等との連携体制強化型」
- 「高大接続の強化」
- 「マイスター・ハイスクール（次世代地域産業人材育成刷新事業）」
- 「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」
- 「新しい普通科の設置支援」
- 「遠隔・通信等を活用した学びの機会の充実ネットワークの構築」
- 「不登校生徒等の学び充実支援策」
- 「普通科改革支援事業」
- 「高等学校DX加速化推進事業」
- 「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）支援事業」

### ■ご提案プログラム

遠隔教育を活用した地図教育の充実

地域課題解決型学習:地図を活用したマイスター・ハイスクール支援

DXハイスクール支援:地理情報を活用した探究学習プログラム

STEAM教育:地理データを基盤とした課題解決型学習

高校DX支援:3D地形モデルとVR技術の導入

## 5. 導入事例

- 隠岐高校（隠岐の島町）一島前高校（海士町）、東川町日本語学校ータイ外国語学校、ジオパーク全国大会会場と遠隔地（外部講師）との接続 など実績多数